

様式第4号その①（第6条関係）

令和5年 〆月 〆日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名 小林 栄二

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙
のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度政務活動費収支報告書

議員名 小林 栄二

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位:円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	60,720	60,720
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	25,850	15,510
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	86,570	76,230

3 残額

187,770 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)
令和4年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目											領収書額	政務活動費 報告額	
			旅費	講師 謝金	出席 負担金	印刷 製本費	図書 購入費	備品 購入費	消耗 品費	使用料	郵送料	手数料	賞金			その他
1	視察旅費	調査研究費	60,720												60,720	60,720
2	活動報告書印刷代	広報及び広聴費				25,850									25,850	15,510
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計			60,720			25,850									86,570	76,230

研修開催費		
調査研究費	60,720	60,720
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	25,850	15,510
人件費		
事務所費		
合 計	86,570	76,230

(様式3)

政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	小林 栄二		用 件	① 「世界遺産センター」について ② 「産業遺産情報センター」について ③ 「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置」及び「学校体育館空調含む学校施設整備」について
日 程	1月23日 ~ 1月25日 (3日間)			
用 務 地	① 国会議事堂 ② 産業遺産情報センター ③ 国会議事堂			
交通手段	■公共交通機関 □私用車 □その他			
バック料金	航空券代+ホテル代 (2泊2食)		58,500 円	
控除額	朝食代 (@900) × 2		-1,800 円	
鉄道賃	東郷 ~ 福岡空港 (往復)		1,660 円	
鉄道賃	羽田空港 ~ 永田町		620 円	
鉄道賃	永田町 ~ 東銀座		280 円	
鉄道賃	東銀座 ~ 若松河田 (往復)		560 円	
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町		280 円	
鉄道賃	永田町 ~ 羽田空港		620 円	
車賃	車走行距離 \times 37 円		円	
合計			60,720 円	

※航空券+宿泊代をバック料金として計上

※バックには朝食2回が付いていたので、その食事代を控除する

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要な事項を記入し事務局へ提出する。

①

領 収 証

№ 006886

小林 栄二 殿

令和 5 年 1 月 27 日

¥ 59,500

上記の金額は 名目 観光券 として領収いたしました。
今後本件についてのお問合せは下記の担当者宛をお願い申し上げます。



三ツ観

社
支店

〒812-0011 福岡
電話092(441)086

10-24
ビル2F
1902

担当者印



観光庁長官登録旅行業 第1650号

2023/1/13

宗像市議会 宗像志政クラブ 様

ラド観光株式会社 福岡支店
 観光庁長官登録第一種旅行業第1650号
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24
 博多駅前藤井ビル2階
 TEL (092) 432-1860
 FAX (092) 432-1908
 担当者: XXXXXXXXXX
 携帯: XXXXXXXXXX

<input type="checkbox"/> 方面	東京
<input type="checkbox"/> 期間	2023年1月23日(月)～25日(水)
<input type="checkbox"/> 人員	9名

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。
 御見積を下記のように提出致しますので、よろしくお願い申し上げます。

交通費	種別	区間	運賃(料金含む)	人員台数	小計	地名・施設名	料金	人員	小計		
	航空券+宿泊(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)	58,500	9	526,500					0	
		都内(2泊2朝付)			0				0		
					0				0		
					0				0		
					0				0		
					0				0		
					0				0		
					0				0		
交通費計(A)					526,500	拝観入場料計(D)				0	
宿泊費	月/日()	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	その他費用	国内旅行傷害保険	500	9	4,500
	1/23(月)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	9	0		有料道路・駐車場(概算)	0	0	0
						0		添乗員経費(同行しません)	0	0	0
	1/24(火)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	9	0		乗務員昼食代	0	0	0
						0		取扱手数料	500	9	4,500
宿泊費計(B)					0	その他費用計(E)				9,000	
食事・弁当	月/日()	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	・上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。 ・ご参加人員が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。 ・交通費及び車検・入場料は、2022年 11月 15日現在の運賃料金を価格としております。				
	1/23(月)～1/25(水)	昼食3回・夕食2回	各自で	0	9	0					
						0					
						0					
						0					
食事・弁当代計(C)					0	お一人様旅行代金 (9名様あたり)		¥59,500			
					0	ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E)		¥535,500			

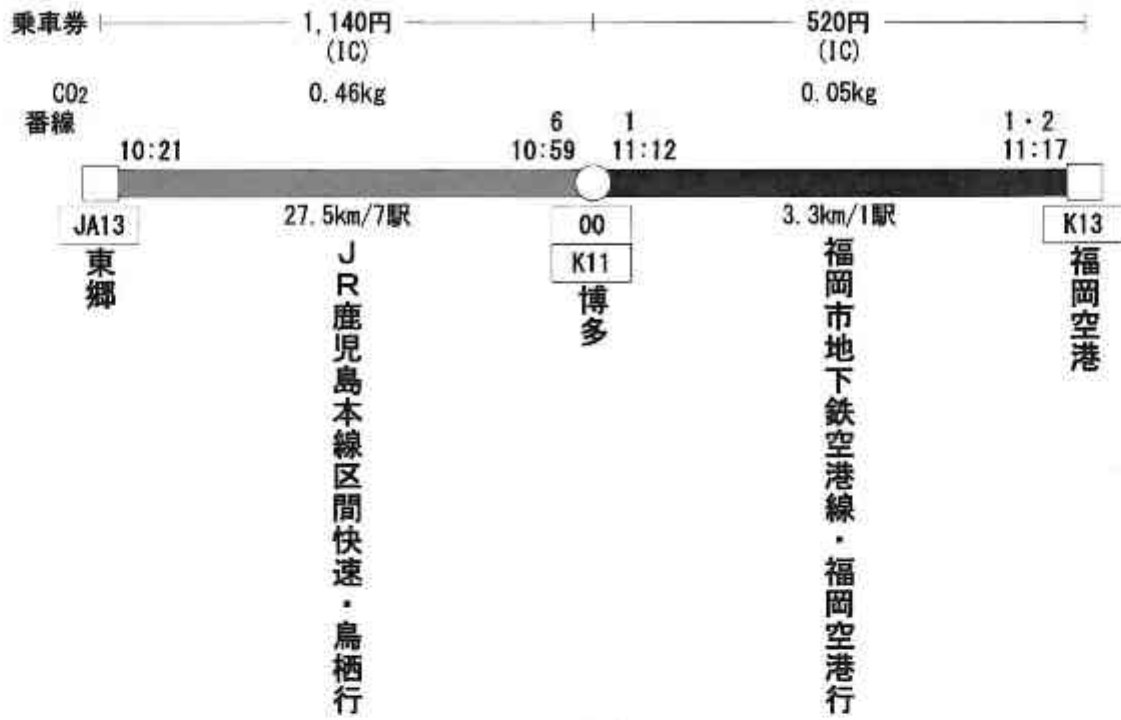
東郷 → 福岡空港

探索順 第1/3経路

出発日 2023年 1月23日(月)
所要時間 56分 (乗車43分 他13分)
往復金額 1,660円

乗り換え 1回 距離 30.8km

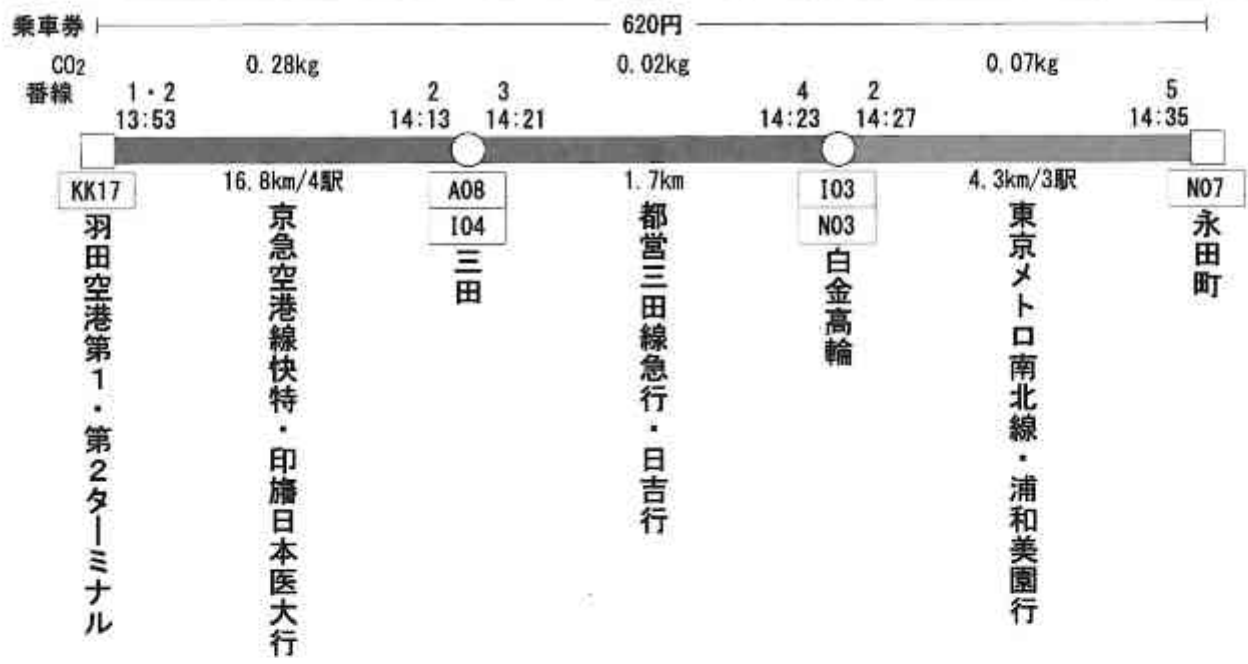
CO₂排出量 0.52kg (🚗 4.0kg)



羽田空港第1・第2ターミナル → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2023年 1月23日(月) 乗り換え 2回 距離 22.8km
所要時間 42分 (乗車30分 他12分)
片道金額 620円 CO₂排出量 0.38kg (乗車 2.9kg)



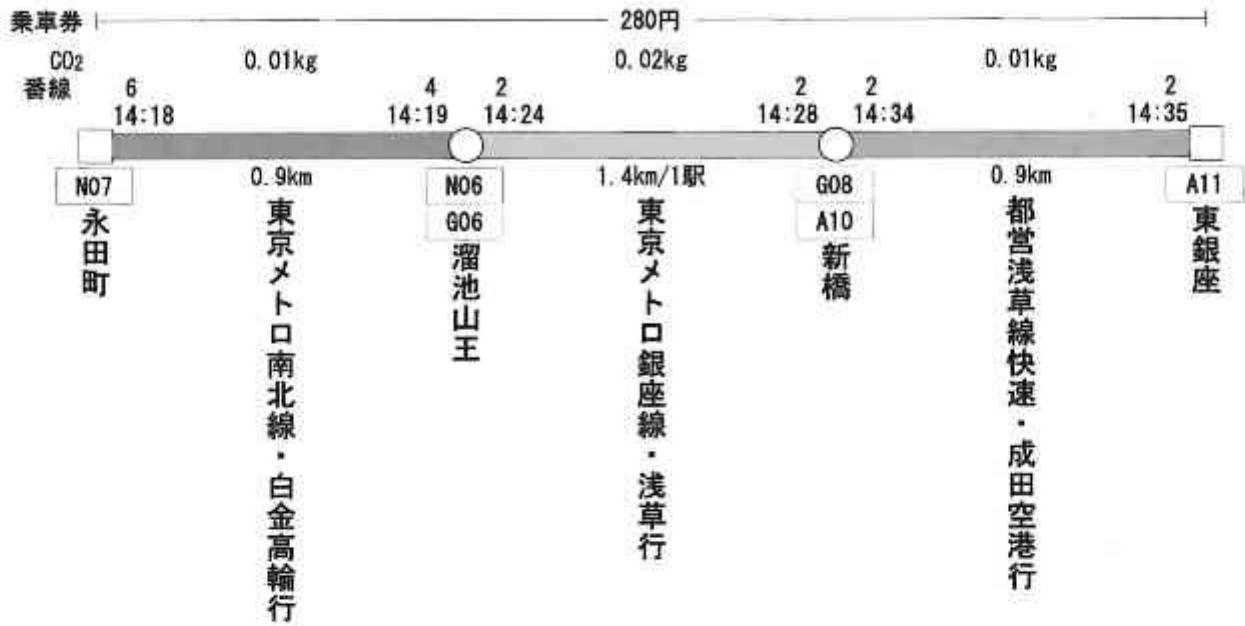
永田町 → 東銀座

探索順 第3/5経路

出発日 2023年 1月23日(月)
所要時間 17分 (乗車6分 他11分)
片道金額 280円

乗り換え 2回 距離 3.2km

CO₂排出量 0.05kg (🚗 0.41kg)



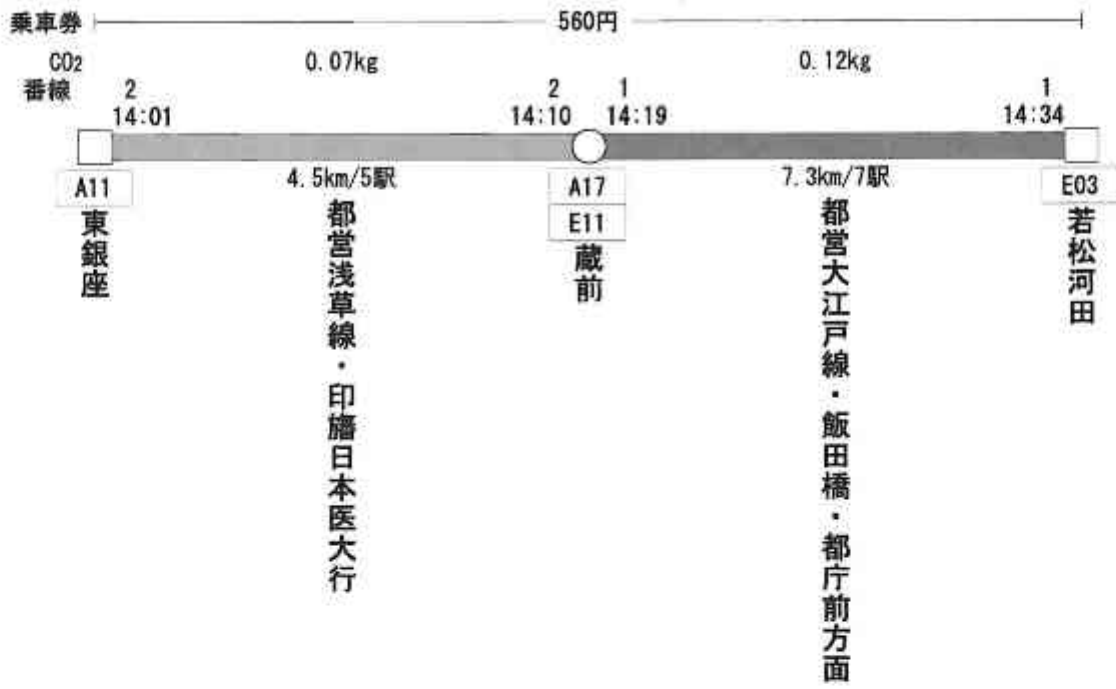
東銀座 → 若松河田

探索順 第1/5経路

出発日 2023年 1月24日(火)
所要時間 33分 (乗車24分 他9分)
往復金額 560円

乗り換え 1回 距離 11.8km

CO₂排出量 0.20kg (🚗 1.5kg)



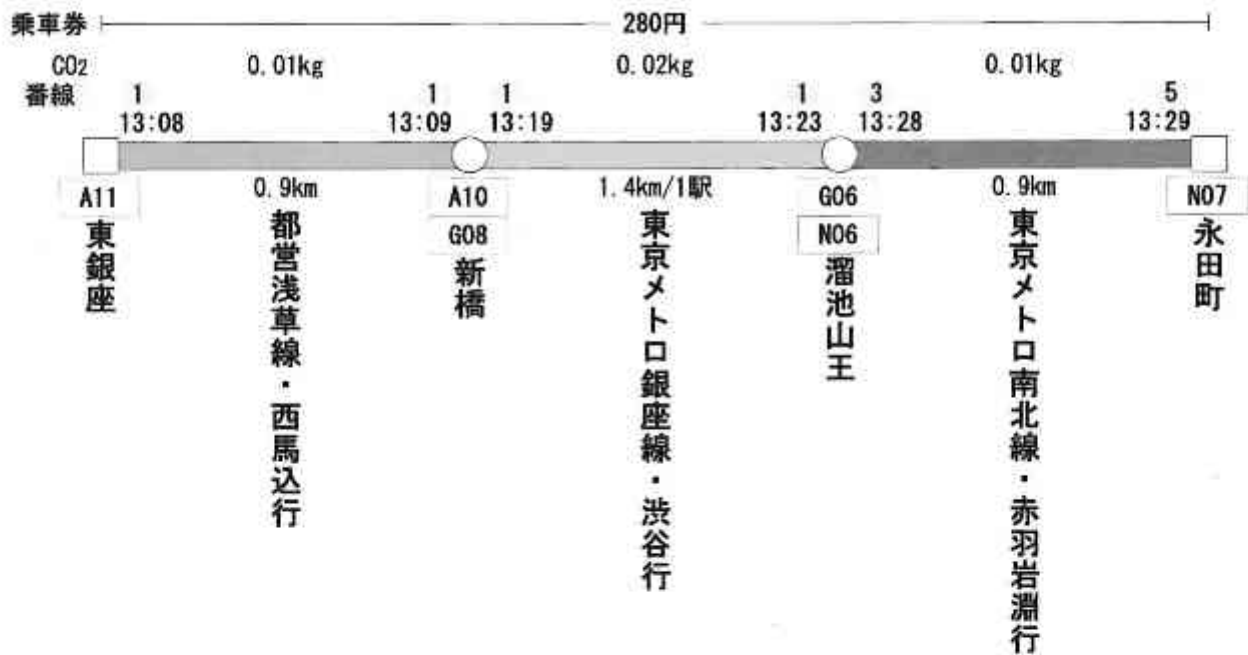
東銀座 → 永田町

乗換回数順 第4/5経路

出発日 2023年 1月25日(水)
所要時間 21分 (乗車6分 他15分)
片道金額 280円

乗り換え 2回 距離 3.2km

CO₂排出量 0.05kg (🚗 0.41kg)



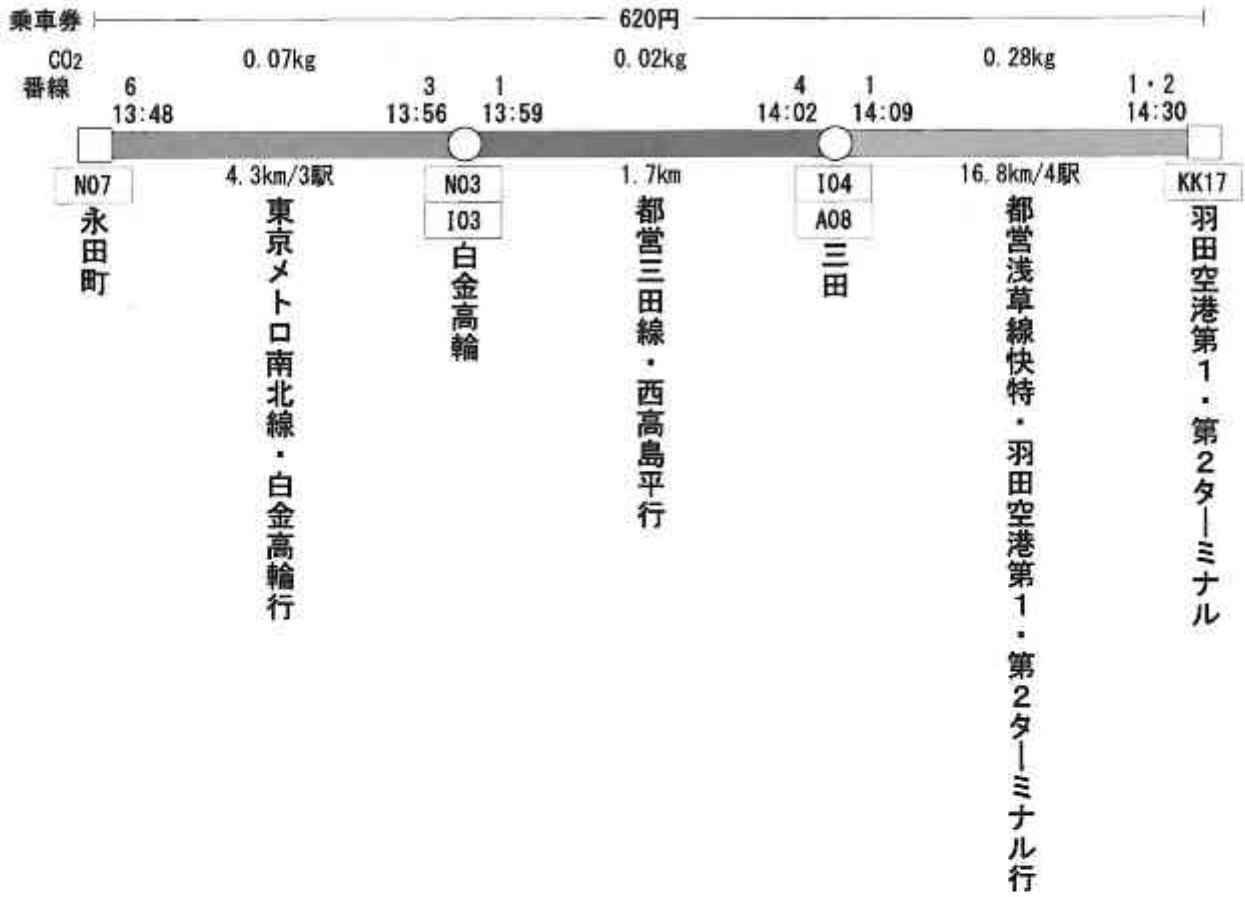
永田町 → 羽田空港第1・第2ターミナル

探索順 第2/5経路

出発日 2023年 1月25日(水)
所要時間 42分 (乗車32分 他10分)
片道金額 620円

乗り換え 2回 距離 22.8km

CO₂排出量 0.38kg (乗車 2.9kg)



(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林 栄二

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	「世界遺産センター」についての視察		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日 程	令和5年1月23日(月) ~ 令和5年1月23日(月)		
時 間	15:00~16:00	場 所	衆議院第一会館 文部科学委員長室
概 要	<p><input checked="" type="checkbox"/>文化庁 文化資源活用課 文化遺産国際協力室 世界文化遺産企画室の説明</p> <p>1. 世界遺産センター設置の経緯動向について</p> <p>(1)既存の博物館等の施設を利用するパターンと世界遺産登録を機に設置するパターンがある</p> <p>(2)財源については、文化庁補助、県や市の単費など様々ある。文化財保護法を根拠とした財源確保策もある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室 内閣府地方創生推進事務局の説明</p> <p>1. 明治日本の産業革命遺産について</p> <p>2. 産業遺産情報センターについて</p> <p>世界遺産委員会決議の際に構成資産23施設(8県11市)についてのフルヒストリーについて説明戦略に盛り込むことが条件とされ、日本政府としてインフォメーションセンターを設けることを約束した経緯があり、設置した</p> <p>3. 機能について</p> <p>(1)調査研究機能: 様々な情報をデジタル化し調査分析研究を行っている</p> <p>(2)人材育成機能: マニュアルテキストブックを作成し人材育成を行っている</p> <p>(3)情報提供機能: 蓄積した情報をデジタルツール等も駆使して提供している</p>		
所 感	財源化の根拠では市費だけでは厳しいと考えられる、文化財法の根拠が重要だと感じた。		

(様式2)



視察の様子

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林栄二

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	「産業遺産情報センター」についての視察		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日 程	令和5年1月24日(火) ～ 令和5年1月24日(火)		
時 間	10:00～11:50	場 所	新宿区 産業遺産情報センター
概 要	<p>■一般財団法人 産業遺産国民会議 情報センターの説明</p> <p>1. 明治日本の産業革命遺産の概要について</p> <p>(1) 構成資産が23施設(8県11市)にまたがるため、各自治体関係者で連携が必要なことから大きな苦勞があり、登録まで16年間を費やした。</p> <p>(2) 構成資産(不動産)が持つ特定の時期(1850年～1910年)を対象としている。</p> <p>2. 特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・シリアルノミネーションによる登録(23施設のうち1施設でも条件をクリアできなければ登録されなかった)・構成資産の中に稼働中の産業施設を含んでいる。 <p>上記の二点を満たしている世界遺産は前例がなく、世界で唯一である。</p> <p>3. 日本の産業革命の特徴について</p> <p>(1) 非西洋国として初めてかつ短期間(1850年～1910年)で産業革命を成し遂げた。</p> <p>(2) 中産階級が主体として産業革命を起こした西洋国とは異なり、唯一国防のためにトップダウンで産業革命を成し産業国家へ成長した。</p> <p>4. センター設置の経緯等について</p> <p>世界遺産委員会決議の際に構成資産23施設(8県11市)についてのフルヒストリーについて説明戦略に盛り込むことが条件とされ、日本政府としてインフォメーションセンターを設けることを約束した経緯があり設置された。</p> <p>5. 展示スペース(3つのゾーン)について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 世界遺産に登録されるまでの道のり(2) 幕末～明治までわずか半世紀で産業国家へと成長していったプロセス(3) 産業労働に関する出展の明らかな一次二次資料、証言の紹介 <p>■施設内を専門ガイドから説明(90分程度)を受ける</p>		

(様式2)

所 感	・産業遺産センター設置の経緯を伺って、宗像でも世界遺産センターの検討を真摯に進める必要性を感じました。
-----	---



視察の様子(視察後にセンターからの提案で撮影)

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林 栄二

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置」及び「学校体育館空調含む学校施設整備」についての視察		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日 程	令和5年1月25日(水) ～ 令和5年1月25日(水)		
時 間	10:00～11:00	場 所	衆議院第一会館 文部科学委員長室
概 要	<p>■文部科学省 初等中等教育局 初等中等教育企画課 教育制度改革室の説明</p> <p>1. 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置について</p> <p>(1) 平成元年～令和4年の児童生徒数は9.5%、学校数9.7%減少。</p> <p>(2) 適正化の検討は、児童生徒の教育条件をより良くする目的で行うべきものというのが適正規模・適正配置に関する基本的な考え方である。</p> <p>(3) 適正規模・適正配置に関する支援</p> <p>①施設整備への補助、②教員定数の加配</p> <p>③スクールバス等購入補助、④魅力ある学校づくりの先進事例発信</p> <p>(4) 小中一貫教育制度</p> <p>■文部科学省 大臣官房 文教施設企画・防災部施設助成課の説明</p> <p>1. 体育館空調設置について</p> <p>(1) 設置状況について(令和4年度) ()内は設置率</p> <p><全国>普通教室(95.7%)特別教室(63.3%)体育館(15.3%)</p> <p><宗像>普通教室(100%)特別教室(93.4%)体育館(0%) ※設置率</p> <p>(2) 新たな補助率引き上げについて(令和5年度改正案)</p> <p>政府全体として防災・減災、国土強靱化に関する取組が強化されている。</p> <p>例: 現行1/3 → 引き上げ後1/2(令和7年度まで)</p> <p>2. 学校施設整備について</p> <p>(1) 公立学校施設整備事業の概要について</p> <p>(2) 大規模改造事業について</p> <p>(3) 防災機能強化事業について</p>		
所 感	施設整備に関しては国も防災的から力を入れている事を感じました。		

(様式2)



視察の様子(宮内秀樹文部科学委員長同席)

●宗像末社めぐり

地域の誇りを守り、活かします。

前回に引き続き宗像大社の摂末社120社のひとつを紹介させていただきます。郷土の歴史を知ることは重要ですし、この魅力が多くの人々に伝われば幸いです。



孔大寺神社



宗像市で最高峰の孔大寺山(こだいしやま)宗像市池野の8合目付近に鎮座し、英彦山や宝満山と並ぶ修験道の場として知られています。祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)。大国主命の別名で、沖ノ島に鎮座する田心姫(たごりひめ)とは夫婦神にあたり、明治15年に宗像大社の摂社に定められました。毎年3月2日に例祭が行われ、宗像大社の神職が献幣使として奉仕します。昔、天然痘流行の折、孔大寺宮に参詣すると治るとして参拝者が多く、病氣平癒・厄除けお守として子供用のゾウリを青木の小枝に付けて授与されています。

その昔、山頂に大穴があり孔大寺と呼ばれるようになり、そこから神明が白馬や大蛇の形で現れ祭祀を受けられたという伝説があります。

「意見書」の提出について

地域より要請を受けていました、福岡県響灘沖における「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」に基づく促進区域の指定検討に係る意見書の提出を、全員賛成で可決して福岡県に提出しました。

- 1 利害関係者(特に漁業者)との協議の場を設けること。
- 2 洋上風力発電計画の具体的内容に係る情報提供をすること。
- 3 世界遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」への影響に関わる情報提供をすること。

発行者

小林えいじ事務所 ☎ 090-3071-7676

〒811-3503 宗像市牟田尻1866 ✉ eiji1192kb@gmail.com

小林えいじ

Eiji News Paper

新聞

令和4年夏



夢を語り想いをかたちに!!

コロナウイルス感染が収まらない状況下で、ロシアとウクライナの戦争により世界経済が不安定になり、その影響は日本にも大きく出ています。また国内では安倍元総理が銃撃されるなど殺伐としたことが続いています。

世界ではSDGs(持続可能な開発目標)活動が盛んになっていますが、戦争はこの崇高なる目標も一瞬で崩壊させてしまいます。出光佐三翁は「互譲互助」「人間尊重」「黄金の奴隷になるな」と言われました。まさしくSDGsの基本だと思います。

SDGsの実現に必要なのは「お互いが助け合いながら、夢ある明るい未来を想像できる計画を作ること」だと思います。助け合い無しでサステイナブルの実現は不可能です。これからも皆さんと力を合わせて「夢あるまちづくり」のために努力したいと思いますので、ご支援とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

宗像大社 新たなる夢へ



昭和46年に竣工した宗像大社祈願殿が52年間の役目を終えて解体されました。

宗像のシンボリックな建物で、当時の神社施設としては珍しく鉄骨創りで全館冷暖房完備されており、一般家庭にクーラーが少ない時代、近所の方々が涼みに訪れられていたそうです。

私の初めての選挙の第一声もここから始まり、幾度となく利用させて頂き沢山の思い出がありますが、一つの時代が終わった心境です。しかし新たな始まりでもあります。これからも盛り立てていきたいと思っています。

「9月・3月議会での一般質問について」は次のページへ▶

9月・3月議会での一般質問について



詳細議事録は右のQRコードより

地域振興について

質問 道の駅周辺をにぎわいの拠点として、495号沿線を賑わせていくと以前より聞いていますが、民間企業誘致の進捗と、それに伴う課題は何でしょうか。

A 御相談は複数件いただいております。課題として、適地が見つからないといった点と、規制が複雑であるといった点があります。



質問 玄海地区は廃業した旅館や空き家が目立つようになりました。世界遺産のまちとしてふさわしくないと考えます。旧玄海町エリアの再生と北部沿道商業地等施設立地促進補助金の活用方法についてどのようにお考えですか。



A 平成28年度に実施した空き家等実態調査では、玄海地域の空き家は5,071件中、409件で、空き家の比率は8.1%です。市全体の空き家の比率が4.9%なので、玄海地域は空き家の多い地域であると認識しています。北部沿道商業地等施設立地促進補助金は、国道495号線沿道の商業施設の立地促進を図ることでの更なる活性化と商業施設への波及効果を狙っています。

質問 宗像泊まってんキャンペーンの内容と利用状況についてと周知方法と、その効果はどうだったでしょうか。

A 2月20日時点で8,237枚が発行されています。周知方法はインターネットのバナー広告が中心です。当初は好調でしたが、1月からの規制により減少に転じましたが発行を止めなかったことで事業者には喜ばれました。



質問 宗像市はSDGs未来都市に選定されると共に、ゼロカーボンシティ宣言をしています。藻場再生事業や海岸清掃、海洋調査などの促進により教育旅行や企業研修などの誘致につなげられると考えますが。

A しっかりと取り組みたいと思います。

農業・漁業について

質問 宗像は船釣りが大変人気です。北九州市では釣った魚を飲食店で料理するサービスを行い、西伊豆では地域通貨で買い取り、道の駅で販売しながら、その通貨で買い物をしてもらうなどを行っています。

A 詳細を把握しておりませんので回答出来ませんが、調査・検討させていただきます。



質問 もうかる農業について農水省はスマート農業推奨していますが、宗像市の施策状況はどうなっていますか。



A 特にいちご生産の新規就労者に対して、宗像園芸農業ICT普及促進事業に取り組んでいます。ベテラン生産者の温度管理をリアルタイムに共有し、実践出来ており、若手いちご生産者で80万円の増収につながった事例もあります。高性能機器の導入は作業時間と労働力削減につながり喜んでもらっており、今後も積極的に関わっていきたいと思います。

質問 高い収益性を確保できる果樹栽培の実現と、夏場の果樹栽培や生産地形成に対して、新たな取り組みが必要と感じていますが。

A 通年で行えることが実現すれば良くなると思います。そこでシャインマスカットなどが良いと思っています。品質選定、生産者育成、販路拡大が大事で、生産から販売まで一連で行えるように関係機関と共に検討したいと思います。

地域防災について

質問 災害危険箇所指定されている場所について、どのように対策を進めていますか。

A 地島小学校の後背地で県による急傾斜崩壊対策事業が進められており、3年を要しましたが今年度完成する予定です。また今年度からは用山川の上流で、県による砂防工事が予定されています。10軒を下回る小規模な危険区域の具体的な箇所、介護施設などが隣接する急傾斜地が玄海地域にあり、そこを優先的に実施の検討をしています。

